

大阪大学様：産官学の枠を超えたコラボレーションの実現

セキュリティな情報共有基盤による組織の壁を越えた「協創」を支援

課題

- ✓ 文部科学省が推進する「革新的イノベーション創出プログラム」において、大阪大学ではその研究テーマの情報共有と情報の保護(特に知的財産)を同時に実現できる新たな情報共有基盤が必要となった。

提案内容

- ✓ 研究のテーマは13のプロジェクトに分かれ、24企業・10研究機関の研究者が、網目のように関わり合いながら9年間にわたり情報共有するため、知的財産の保護(セキュリティ)と情報共有の促進(協創)を同時に実現した。
- ✓ 主な機能としては、閲覧できるメンバーに適切なアクセス権の設定を付与し、クライアント端末でダウンロードした機密情報であっても、サーバ側の「失効」操作により即時に閲覧を停止することができる。

成果・効果

- ✓ 産官学34機関の情報共有の促進と知的財産権保護を同時に実現し、イノベーション創出を加速。
- ✓ 情報漏洩防止を基本とした情報共有基盤の構築は、官公庁、地方自治体、文教分野、民間企業でも必須。
- ✓ プロジェクト毎にアクセスできるメンバーを限定できるため、安心して研究に必要な情報が共有できる。
- ✓ ファイルが作成された経緯を時系列に確認でき、メンバーの入れ替わり時に情報の引継ぎが容易。
- ✓ 重要なデータや知財文書などの機密情報は、データ単位で動的にアクセス権をコントロールできる。



問合せ先

株式会社 日立製作所 関西支社
公共情報システム営業部
TEL:050-3154-3907
FAX:050-3154-3777